

環境教育・環境活動

本校は、学校教育全体を通して環境教育を行い、環境委員会を中心に保護活動に取り組んでいます。

環境教育・環境活動の目的

学校の教育活動全体を通して、環境に対する豊かな感受性を育てるとともに、持続可能な社会の構築につながる見方や考え方を育み、よりよい環境の創造や保全のために主体的に取り組む態度、能力を育てる。

環境委員会の活動

ペットボトルキャップ、プルタブ回収

環境委員会を中心に、全校でペットボトルキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを送る活動に取り組みました。



下足箱、職員室前に置いて集めます



たくさん集まってるよ。世界の子どもたちの役に立てたいね。



149kg、49人分のポリオワクチンを届けることができました。



日明小学校でペットボトルキャップを集めました。ワクチンを届けよう活動に役立ててください。

空き缶回収



下足室前に袋を置いて、空き缶、ペットボトルの回収活動に取り組みました。回収で得たお金で車いすを購入し、地域のデイケアセンターに寄贈しました。自分たちの活動が地域の役に立ててよかったです。



古紙回収



北九州市は、過去に工場からのばい煙、ヘドロに包まれた街から、澄んだ空、きれいな海を取り戻す環境改善に対する取組に力を入れてきた都市です。私たちも3Rの趣旨を生かして、リサイクル活動を推進します。

その他の教育活動との関連

環境教育の考え方として、社会科、理科、家庭科、生活科といった環境教育に直接関わる教科だけでなく、他の教科においても言語活動や数理的、音楽的、造形的な活動を通して、環境に対する豊かな感受性や見識を持つ子供に育てることを大切にして教育活動を行っています。

社会科、音楽科教育との関連

—故郷やそこに暮らす人々とのつながり、伝統をつなぐ教育—

地元のゲストティーチャーを招いて、ふるさとの伝統音楽「小倉祇園太鼓」体験を通して、小倉の歴史を知り、ふるさとの誇りや愛着を感じ取る取組をしています。



ゲストティーチャー(地域で小倉祇園太鼓を指導されている方)に小倉祇園太鼓が始まった由縁、歴史について教えていただきました。

お話の後に、実際に太鼓の叩き方を教えていただきました。

太鼓を実際に叩いてみると、祇園太鼓のよさがわかるね。